

# 令和元年度 市長会事業実施報告

## 1 活力にあふれる圏域づくり：産業振興

### ①圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング

#### ◆圏域内企業のビジネスマッチング

- ・ビジネスマッチング 商談・展示会 2019in 出雲（平田会場）  
（11/21 出雲市平田町 平田文化館）  
商談・展示参加企業数：291社  
当日商談件数：663件



### ②産学・医工連携事業

#### ◆医工連携コンシェルジュ・アドバイザー・協議会等による事業推進・支援

- ・ニーズ発表会開催（10/29、12/4）及び圏域の医療機関と圏域内企業とのマッチング支援
- ・関東及び関西圏での部材供給に係る企業訪問
- ・賛助会員を対象とした調査研究報告等（12/4 賛助会員交流会）
- ・協議会 総会（5/29 松江テルサ）
- ・産学・医工連携講演会の開催（6/26、10/1）
- ・圏域内展示会での事業 PR 等



### ③ロシアへの販路拡大支援事業

- ◆鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」への参画
  - ・ロシアビジネスセミナー、ロシア郵便局でのテスト販売企画等の情報提供
  - ・DBS クルーズ フェリー航路を活用した、ロシア極東への販路開拓等
- ◆中海・宍道湖・大山圏域 DBS クルーズ フェリー船内セミナー（6/28）
- ◆DBS クルーズ フェリー就航 10 周年記念セミナー（7/5）
- ◆境港利用促進懇談会（11/26 島根県民会館）



### ④海外商談会参加等支援事業

- ◆申請実績；16件 補助実績額；1,364千円

### ⑤インドとの経済交流事業

- ◆日本語教師をコチ理工大学に配置（4/1～）
- ◆留学生インターンシップ（3/1～14 予定）研修生：14名
- ◆ケララ州での就職フェア開催（12/15～19）
- ◆ASA ケララ来圏（8/4 歓迎レセプション、8/5 意見交換会）
- ◆ケララ州訪問団来圏対応及び首相閣下歓迎昼食会開催（11/26、27）



## ⑥台湾との経済交流事業

- ◆台湾セミナー開催（9/11、11/25）
- ◆建国花市での圏域PR

## ⑦山陰いいものマルシェプロジェクト

- ◆クルーズ船仕入れ担当による視察ツアー（7/12・島根県と連携し実施）
- ◆圏域外でのマルシェ開催 大阪市（7/27、28）
- ◆圏域内での大規模マルシェ開催（3/22 予定・国宝松江城周辺）
- ◆圏域外向け2次展開事業 商談会（3/23 予定）



## ⑧環日本海定期貨客船航路就航支援【特別会計】

- ◆定期貨客船航路就航支援補助

## 2 訪ねてみたい圏域づくり：観光振興

※協定に基づき(一社) 圏域観光局が実施

### ①クルーズ客船寄港時のおもてなし

2019年寄港回数 53回

- ◆岸壁における観光案内業務・交流イベントの実施
  - ・交流イベント実施回数 52回
  - ・観光案内実施回数26回
- ◆鳥取県と連携し実証実験（レンタサイクル）を実施 実施期間：5/22～11/30
- ◆外国語ボランティアガイドによる観光案内業務
  - ・対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他 ※中海・宍道湖観光協会会議に委託
- ◆松江商工会議所と連携しFIT 客向けモニターツアー開催



### ②圏域インバウンド対策事業

- ◆受入環境整備
  - ・観光案内所ネットワーク化の推進  
案内所職員研修の実施 9/26（安来市）、10/2（大山圏域）、10/17（境港市）
  - ・圏域キャッシュレス化推進検討委員会を開催（4/4、11/28）
  - ・伝統工芸品英文パンフレット発行、説明会開催（4/16）
  - ・山陰地域観光 MaaS 協議会に参画
- ◆海外プロモーション
  - ・JNTO（日本政府観光局）賛助会員への加入
    - 欧米豪向けWEBプロモーション
      - ・ジャパントイムズG20大阪特集号（6月）でのパブリシティ広告記事掲載
      - ・JNTOホームページを活用したプロモーションの実施（2月予定）
      - ・フランス人ユーチューバーによる圏域観光動画の作成と情報発信（3月予定）
    - 台湾向け現地プロモーション（トップセールス、見本市出展、現地メディア等）
      - ・現地観光情報説明会、商談会開催（10/3～6）  
参加者：日本側29社 51名 台湾側78社 105名
      - ・訪日旅行サイト「楽吃購(ラーチーゴー)！」での情報発信
      - ・建国花市圏域観光ブース出展（1/17～19）



○上海向け現地プロモーション

- ・1月の米子-上海便就航に合わせた現地商談会への参加（11/26～28）

○「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート（VJTM）国内セラー」インバウンド商談会参加

- ◆英語版ホームページ改修、英語版フェイスブックページの開設、更新（12月～）

③国内での観光プロモーション

- ◆JR京阪神地区主要駅（大阪、三ノ宮など）でのPRキャラバンの実施  
年4回（6月、9月、12月実施、3月実施予定）
- ◆航空自衛隊美保基地「航空祭」での観光プロモーション
- ◆出雲空港及び米子空港の冬季の利用促進のための補助金交付
- ◆ツーリズムEXPOジャパン2019（10/24～27）島根県と連携し圏域ブース出展



④三大都市圏等への圏域PRプロジェクト

- ◆三大都市圏への観光プロモーション
  - ・メディア（雑誌）を活用した通年プロモーション
  - ・三城（国宝松江城、月山富田城、米子城）連携によるプロモーション  
9/25～2/29 うんぱく三城御城印めぐりキャンペーン開催  
12/21～22 お城EXPO出展
  - ・まっぴる山陰'20に記事広告掲載（6月発行）
- ◆山陽方面からの誘客
  - ・4/13～14 岡山「アクティブシニアフェア2019」に出展
- ◆東北・静岡方面からの誘客プロジェクト
  - ・8/6～8「仙台七夕まつり」への出展
  - ・10/18-19 仙台市サンモール一番町商店街でのイベントプロモーション
- ◆WEBによるプロモーション
  - ・日本語ホームページの新規開設・活用。SNSによる情報発信



⑤観光客受け入れ体制の充実

- ◆5/18、26 松江市ホーランエンヤ会場臨時観光案内所設置
- ◆縁むすびスマートナビの運用
- ◆翻訳業務の実施



⑥中海・宍道湖・大山圏域DMO事務局の運営

- ◆4/1 一般社団法人化。6月観光庁に登録申請し、8/7付で日本版DMOとして正式登録

### 3 住みたくなる圏域づくり：環境の充実

#### ①自然環境学習

##### ◆子ども探検スクール開催

- ・8/7 宍道湖コース 午前の部
- ・8/7 宍道湖コース 午後の部
- ・8/8 日本海 加賀の潜戸コース
- ・8/20 中海コース
- ・8/21 大山 木谷沢溪流散策コース



##### ◆自然環境の保全等に係る広報啓発

- ・圏域5市での水鳥フォトコンテスト作品展示ほか
- ・中海・宍道湖ぐるっと ウンパくんモバイルスタンプラリー開催（12/9～3/8）
- ・冬子ども探検スクール開催（2/1、2/8）

#### ②防災対策の充実

##### ◆防災連絡協議会開催

##### ◆通信連絡訓練の実施、防災資機材の調達

### 4 とともに歩む圏域づくり：連携と協働

#### ①圏域内の連携・交流推進

- ◆境港整備に係る要望活動の実施（7/8、11/21、2/6）
- ◆「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」設立総会（5/22）、伯備新幹線の早期実現を求める総決起大会（10/20）、要望活動の実施（6/12、11/14）
- ◆中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会及び要望活動の実施（11/14）
- ◆第1回総合戦略推進委員会開催（8/22）



#### ②人材育成の共同化

##### ◆『山陰まんなか未来創造塾』の開催

- ・山陰まんなか未来創造塾（2/5、3/9）

演題等：2/5「セブン銀行の挑戦」

講師：(株)セブン銀行 専務執行役員 松橋正明氏

3/9 実施予定「宗次流 独断と偏見の経営哲学」

講師：カレーハウス CoCo 壱番屋 創業者 宗次徳二氏

### ③文化・スポーツ交流促進事業

- ◆『第2回キッズふれあいスポーツフェスティバル』開催（1/18・松江市総合体育館）
- ◆文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援  
申請実績；1件 補助実績額；200千円
- ◆夏祭りやイベントにおける、各市間での文化団体・芸能団体等の招致、交流



### ④中海・宍道湖レガッタ開催支援事業

- ◆中海・宍道湖レガッタ開催支援（9/8）

### ⑤移住・定住等促進事業

- ◆婚活イベント『婚活 Project2019』開催（9/29・松江市、10/6・米子市）
- ◆東京大学地域未来社会連携研究機構との包括協定を締結（2/17）
- ◆島根大学・若者を共に育てるプロジェクト  
COC 人材育成コースの1年生50名が受講する授業において、各市の職員による総合戦略やまちづくりについての講義のほか、フィールドワークを実施（4/19、6/1）



### ⑥交通 IC カード導入調査事業

- ◆交通系 IC カードシステムの導入検討に伴うコンサルティング業務委託の実施
- ◆交通 IC カードシステムに係る先進地視察（12/12～13）

# 令和元年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会 事業実施状況報告

## ◆事業概要

市長会基本方向(4本柱)において、地方創生推進交付金を活用しながら、各事業を実施します。  
 一般会計 25事業 119,395,004円 (※事務局運営費、予備費を除く)  
 特別会計 1事業 15,600,000円

## 一般会計

### 1 活力にあふれる圏域づくり(産業振興) 50,389,004円

産学・医工連携事業を推進し全国や世界を相手にできる新産業の創出を目指します。  
 インドとの経済交流事業では、インドIT等人材の圏域内企業への就職や日印企業の業務提携等に繋げる取組を展開します。

- 1) 圏域企業の産業連携支援事業
  - ・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング ……p.9
  - ・産学・医工連携事業 ……p.10
- 2) 圏域内企業の海外展開支援事業
  - ・ロシアへの販路拡大支援事業 ……p.12
  - ・海外商談会参加等支援事業 ……p.13
  - ・インドとの経済交流事業 ……p.14
  - ・台湾との経済交流事業 ……p.16
- 3) 山陰いいものマルシェプロジェクト
  - ・山陰いいものマルシェプロジェクト ……p.17

### 2 訪ねてみたい圏域づくり(観光振興) ※圏域観光局が実施(協定締結) 49,410,000円

中海・宍道湖・大山圏域観光局による、さらなるインバウンドの推進及び圏域内の関連事業と連携した取組を進め誘客強化、経済循環の拡大を図ります。

- 1) 外国人誘客対策事業
  - ・クルーズ客船寄港時のおもてなし ……p.18
  - ・圏域インバウンド対策事業 ……p.18
- 2) 国内誘客対策事業
  - ・国内での観光プロモーション ……p.19
  - ・三大都市圏等への圏域PRプロジェクト ……p.19
- 3) 圏域観光の魅力アップ事業
  - ・観光客受け入れ体制の充実 ……p.20
- 4) 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費
  - ・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営 ……p.20

### 3 住みたくなる圏域づくり(環境の充実) 2,000,000円

中海・宍道湖、大山など圏域が有する自然環境資源の利活用を促進するとともに、充実した生活環境の豊かさを発信していきます。

- 1) 自然環境の保全・活用事業
  - ・自然環境学習 ……p.21
  - ・自然環境の保全・活用にかかる広報啓発 ……p.22
- 2) 安心して暮らすことのできる環境づくり事業
  - ・防災対策の充実 ……p.23

### 4 ともに歩む圏域づくり(連携と協働) 17,596,000円

圏域内インフラの整備促進に関する要望活動、圏域内の伝統芸能やスポーツなどを通じた相互交流を推進し、圏域の連携をさらに強化していきます。

- 1) 圏域情報の共有・発信
  - ・圏域内外のエリアプロモーション ……p.24
- 2) 圏域内の連携・交流推進
  - ・圏域内の連携・交流推進 ……p.25
  - ・人材育成の共同化 ……p.26
  - ・2020東京オリ・パラプロジェクト事業 ……p.27
  - ・文化・スポーツ交流促進事業 ……p.28
  - ・圏域情報活用推進事業 ……p.30
  - ・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業 ……p.31
  - ・移住・定住等促進事業 ……p.32
  - ・交通ICカード導入調査事業 ……p.33

### 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金 15,600,000円

- 1) 環日本海貨客船航路就航支援
  - ・定期貨客船航路就航支援補助金 ……p.34

令和元年度一般会計歳出予算 集計表

予算科目／事業名称	R元予算額			②の財源内訳			備考
	当初	補正等	②現計 予算額	国・県 支出金	その他	一般財源	
01 事務局運営費	16,087,000	0	16,087,000	0	12,000,000	4,087,000	
01 事務局運営費	16,087,000	0	16,087,000	0	12,000,000	4,087,000	
01 会議費	500,000	0	500,000	0	0	500,000	
会議費	500,000	0	500,000	0	0	500,000	
02 事務局運営費	15,587,000	0	15,587,000	0	12,000,000	3,587,000	
旅費	300,000	0	300,000	0	0	300,000	
需用費	1,279,000	0	1,279,000	0	0	1,279,000	
役務費	378,000	0	378,000	0	0	378,000	
委託料	647,000	0	647,000	0	0	647,000	
使用料及び賃借料	833,000	0	833,000	0	0	833,000	
備品購入費	150,000	0	150,000	0	0	150,000	
人件費負担金（1）	12,000,000	0	12,000,000	0	12,000,000	0	
02 事業費	112,246,000	7,149,004	119,395,004	20,398,000	5,000,000	93,997,004	
01 活力にあふれる圏域づくり	49,650,000	739,004	50,389,004	12,998,000	5,000,000	32,391,004	
01 圏域企業の産業連携支援事業	26,700,000	200,000	26,900,000	9,100,000	5,000,000	12,800,000	
圏域内企業情報データベースの充実 圏域内企業のビジネスマッチング	8,500,000	200,000	8,700,000	0	5,000,000	3,700,000	予備費より 200,000円充用
産学・医工連携事業	18,200,000	0	18,200,000	9,100,000	0	9,100,000	
02 圏域内企業の海外展開支援事業	15,450,000	539,004	15,989,004	3,898,000	0	12,091,004	
ロシアへの販路拡大支援事業	0	0	0	0	0	0	
海外商談会参加等支援補助金	1,500,000	0	1,500,000	0	0	1,500,000	
インドとの経済交流事業	12,750,000	539,004	13,289,004	3,898,000	0	9,391,004	予備費より 539,004円充用
台湾との経済交流事業	1,200,000	0	1,200,000	0	0	1,200,000	
03 山陰いいものマルシェプロジェクト	7,500,000	0	7,500,000	0	0	7,500,000	
山陰いいものマルシェプロジェクト	7,500,000	0	7,500,000	0	0	7,500,000	
02 訪ねてみたい圏域づくり	43,000,000	6,410,000	49,410,000	7,000,000	0	42,410,000	
01 外国人誘客対策事業	19,240,000	0	19,240,000	4,900,000	0	14,340,000	
クルーズ客船寄港時のおもてなし	5,000,000	0	5,000,000	0	0	5,000,000	
圏域インバウンド対策事業	14,240,000	0	14,240,000	4,900,000	0	9,340,000	
02 国内誘客対策事業	18,700,000	0	18,700,000	2,100,000	0	16,600,000	
国内での観光プロモーション	3,700,000	0	3,700,000	0	0	3,700,000	
三大都市圏等への圏域PRプロジェクト	15,000,000	0	15,000,000	2,100,000	0	12,900,000	
03 圏域観光の魅力アップ事業	1,000,000	6,410,000	7,410,000	0	0	7,410,000	
観光客受け入れ体制の充実	1,000,000	6,410,000	7,410,000	0	0	7,410,000	補正6,410,000円
04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	4,060,000	0	4,060,000	0	0	4,060,000	
中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	4,060,000	0	4,060,000	0	0	4,060,000	
03 住みたくなる圏域づくり	2,000,000	0	2,000,000	0	0	2,000,000	
01 自然環境の保全・活用事業	1,800,000	0	1,800,000	0	0	1,800,000	
自然環境学習	800,000	0	800,000	0	0	800,000	
自然環境の保全・活用にかかる広報啓発	1,000,000	0	1,000,000	0	0	1,000,000	
02 安心して暮らすことのできる環境づくり事業	200,000	0	200,000	0	0	200,000	
防災対策の充実	200,000	0	200,000	0	0	200,000	
04 ともに歩む圏域づくり	17,596,000	0	17,596,000	400,000	0	17,196,000	
01 圏域情報の共有・発信	300,000	0	300,000	0	0	300,000	
圏域内外へのエリアプロモーション	300,000	0	300,000	0	0	300,000	
02 圏域内の連携・交流推進	17,296,000	0	17,296,000	400,000	0	16,896,000	
圏域内の連携・交流推進	3,860,000	0	3,860,000	0	0	3,860,000	
人材育成の共同化	1,200,000	0	1,200,000	0	0	1,200,000	
2020東京オリ・パラ事前キャンプ誘致事業	0	0	0	0	0	0	
文化・スポーツ交流促進事業	3,500,000	0	3,500,000	0	0	3,500,000	
圏域情報活用推進事業	0	0	0	0	0	0	
中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	200,000	0	200,000	0	0	200,000	
移住・定住等促進事業	2,036,000	0	2,036,000	400,000	0	1,636,000	
交通ICカード導入調査事業	6,500,000	0	6,500,000	0	0	6,500,000	
03 予備費	1,667,000	3,032,996	4,699,996	0	0	4,699,996	
01 予備費	1,667,000	3,032,996	4,699,996	0	0	4,699,996	
01 予備費	1,667,000	3,032,996	4,699,996	0	0	4,699,996	
予備費	1,667,000	3,032,996	4,699,996	0	0	4,699,996	補正3,772,000円 充用739,004円
計	130,000,000	10,182,000	140,182,000	20,398,000	17,000,000	102,784,000	

# 令和元年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会 事業実施状況報告

01 事務局運営費 令和2年1月末現在

## 1 事務局運営費

事業名等	事務局運営費		
事業概要	平成30年度予算額		16,632,000 円
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	令和元年度予算額		16,087,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他 負担金	12,000,000 円
		一般財源	4,087,000 円

### 1. 事業内容

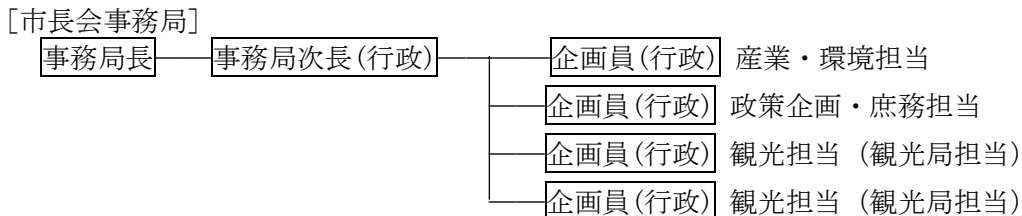
#### (1) 各種会議の開催

4/ 8 第1回企画担当課長会	9/26 第2回環境保全担当課長会
23 第1回環境保全担当課長会	30 第2回産業振興担当課長会
第1回産業振興担当課長会	10/ 4 第4回観光振興担当課長会
24 第1回観光振興担当課長会	9 第4回企画担当課長会
5/28 第1回地方版総合戦略ワーキンググループ	28 第3回環境保全担当課長会
6/10 第2回観光振興担当課長会	31 第5回観光振興担当課長会
18 第2回地方版総合戦略ワーキンググループ	第3回産業振興担当課長会
24 第2回企画担当課長会	11/ 6 第5回企画担当課長会
28 第1回トップミーティング	14 第2回幹事会
7/ 1 第1回幹事会	21 第3回幹事会
16 第1回総会	12/23 第6回観光振興担当課長会
8/ 8 第3回観光振興担当・第3回企画担当 合同課長会	1/ 8 第4回産業振興担当課長会
22 第1回総合戦略推進委員会	28 第2回トップミーティング
	31 第4回幹事会
	2/17 第2回総会 (予定)

#### (2) 事務局の運営

### 2. 事務局体制図

平成31年4月現在



### 3. 経費内訳

	予算額		予算額
・会議費	500,000 円	・備品購入費	150,000 円
・旅費	300,000 円	・事務局運営費(人件費)	12,000,000 円
・需用費	1,279,000 円	計	16,087,000 円
・役務費	378,000 円		
・委託料	647,000 円		
・使用料及び賃借料	833,000 円		

**【財源】**  
人件費負担金 12,000,000 円



## 1 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング			
事業概要			平成30年度予算額	8,500,000 円
			令和元年度予算額	8,700,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他	負担金	5,000,000 円
		一般財源	3,700,000 円	

## 1. 事業内容

## (1) 圏域内企業情報データベースの充実

圏域内企業間での産業連携や域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を質・量ともに充実させ、圏域内外企業へ向けた情報発信をさらに強化していく。

## (2) 圏域内企業のビジネスマッチング

ビジネスマッチング（商談会・名刺交換会）を開催することで、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携などの促進につなげ、圏域経済の活性化を図る。

- ・11/21 ビジネスマッチング商談・展示会 2019in 出雲（平田会場）  
（出雲市平田町 平田文化館）

## 2. 経費内訳

予算額

- ・「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」への委託料 8,700,000 円

## 【財源】

ものづくり実行委員会負担金 5,000,000 円

※実行委員会予算における広報費の増により、第2回実行委員会（8/8）で20万円の増額補正予算承認。市長会予算（予備費充用）により対応。

◎参考：商談・展示参加企業数と当日商談件数の推移

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
商談・展示参加企業数(社)	152	170	265	236	301	285	291
当日商談件数(件)	254	301	528	456	711	651	663
当日商談件数累計(件, H27～)			528	984	1,695	2,346	3,009

◎本事業における数値目標（KPI）と実績

- ・圏域内企業の商談件数⇒令和元年度末に累計1,800件  
（H27～R1年度の5年間：各年度目標値361件）

平成30年度末現在 累計 2,346件

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要			平成30年度予算額	19,950,000 円
			令和元年度予算額	18,200,000 円
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	9,100,000 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	9,100,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域の自治体、事業者、病院、国立大学、高専の産官学で行われている医工連携の取り組みを一層前進させるため、支援体制を整備し各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具等の圏域内外への販路開拓（出口支援）等、各段階における支援事業を展開していく。</p> <p>(1) 産学・医工連携の実現に向けた支援体制の強化に関すること</p> <p>ア 医工連携コンシェルジュ・アドバイザーによる事業推進・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ発表会開催（10/29、12/4）とマッチング支援</li> <li>・ニーズ調査からの圏域の医療機関と圏域内企業とのマッチング支援</li> </ul> <p>イ 普及啓発・広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会ホームページ等の活用による情報発信</li> <li>・各種セミナーの開催</li> <li>6/26 産学・医工連携講演会</li> <li>10/1 産学・医工連携講演会</li> <li>・商談等への支援</li> </ul> <p>ウ 自立した支援体制に向けての具体的取組の試行</p> <p>(2) 産学・医工連携に係る事業の総合調整及び調査研究に関すること</p> <p>ア 調査研究報告、勉強会、情報共有会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛助会員を対象とした調査研究報告等</li> <li>12/4 賛助会員交流会（企業紹介等）</li> </ul> <p>イ マーケティング調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東及び関西圏での部材供給に係る企業訪問</li> </ul> <p>ウ ニーズ・シーズ調査及びデータベースの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域各市における医療機関でのニーズ調査</li> <li>・ニーズ評価委員会開催（10/18、11/19）</li> </ul> <p>(3) 医療機関等との連携基盤の形成に関すること</p> <p>ア 各機関が実施する会議、講座等への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内で開催される商談会、展示会へのブース出展</li> <li>11/2, 3 いずも産業未来博 2019</li> <li>11/21 ビジネスマッチング商談・展示会 2019in 出雲</li> </ul> <p>(4) その他医工連携の推進に関する事項</p> <p>ア 医療機器開発支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援、各種相談支援）</p> <p>イ 圏域の医療機器企業ネットワークの構築</p> <p>今年度開催の会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/29 推進協議会総会 及び推進会議開催</li> </ul>				

2. 経費内訳

予算額

- ・「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」への委託料

18,200,000 円

【財 源】

- ・地方創生推進交付金 (国；内閣府 1/2)

◎本事業における数値目標 (KPI) と実績

(単位:件 上段:目標値 下段:実績値)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実用化件数	—	—	2	2	2
	—	1	0		
相談件数	—	100	100	100	100
	—	78	101		
マッチング成立件数	—	5	5	5	5
	—	0	12		

※上記のほか H30 は出口支援事業等によるマッチング件数 4 件あり。

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	ロシアへの販路拡大支援事業			
事業概要			平成30年度予算額	－ 円
			令和元年度予算額	－ 円
	財源内訳	国・県支出金		－ 円
		補助金		－ 円
		その他		－ 円
		一般財源	－ 円	
<p>定期貨客船航路で境港と繋がるロシア；ウラジオストクにおけるビジネス展開や販路拡大を図り、北東アジアのゲートウェイ機能を果たす。  <b>※鳥取県版プラットフォーム参画により、市長会経費の支出なく事業実施</b></p>				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>平成22年度からの取組により、経済交流の促進、少数ではあるがビジネスの定着など、一定の効果は認められている。一方、その業種や企業は限定的になりつつあり、事業展開の見直しも必要な時期となっている。2019（令和元）年度においては、引き続き鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」と島根県事業（商社への委託事業）を活用し、ロシアへの販路拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/26 鳥取県版プラットフォーム主催会議参加</li> <li>・ 6/26 鳥取県と DBS 本社を訪問（境港市で対応）</li> <li>・ 6/28 定期貨客船航路利用促進のため、DBS クルーズフェリー船内セミナーを境港貿易振興会と共催</li> <li>・ 7/5 鳥取県主催 DBS 就航10周年記念セレモニー、レセプション出席</li> <li>・ 7/17 鳥取県主催 環日本海定期貨客船航路の需要拡大対策会議出席（境港市で対応）</li> <li>・ 8/9 鳥取県主催 ロシア IT 国際ビジネスセミナー参加</li> <li>・ 11/22 鳥取県主催 境港の発展に向けた連絡協議会出席（境港市で対応）</li> <li>・ 11/23 鳥取県主催 DBS 休航前最終便搭乗者見送り参加（境港市で対応）</li> <li>・ 11/26 境港貿易振興会主催 境港利用促進懇談会開催協力</li> </ul>				
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>上記、鳥取県版プラットフォームへの参画により、圏域としてプラットフォームが実施する事業への参加が可能となったため、市長会の経費を支出することなく事業を実施する。</p> <p>当該事業に係る2019（令和元）年度鳥取県当初予算額  ロシアビジネス拠点化構築事業 18,807千円</p>				

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	海外商談会参加等支援事業			
事業概要			平成30年度予算額	1,500,000 円
			令和元年度予算額	1,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	1,500,000 円	

### 1. 事業内容

海外での商談会等へ参加する圏域内の事業者に対し補助金を交付する。

- ・実施期間 5/1～3/31
- ・募集期間 5/1～1/31
- ・対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円  
ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。  
①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会に参加等する場合  
補助対象経費の2/3 補助上限額15万円  
②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合  
補助対象経費の1/4 補助上限額10万円

### 2. 経費内訳 予算額

- ・補助金 1,500,000 円

※1月末現在 16社申請 補助額計1,364,000円

#### ◎参考：申請企業数及び補助金額の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
申請企業数（件）	31	18	18	5	13	15	5
補助金額（千円）	3,929	3,859	2,920	663	1,818	2,834	308

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業																				
事業名	インドとの経済交流事業																				
事業概要	平成30年度予算額		12,750,000 円																		
	令和元年度予算額		13,289,004 円																		
インドケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	3,898,000 円																	
		補助金		0 円																	
		その他		0 円																	
		一般財源		9,391,004 円																	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>2015(平成27)年にインドケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書(MOU)の具体化を図るため、山陰インド協会等の関係団体と連携し、総合戦略に掲げる「圏域企業の海外進出支援のための官民挙げた『インド』進出」及び人材確保実現に取り組む。また、圏域のIT企業等の魅力を向上することで、圏域へのU・Iターンに繋げていく。</p> <p>(1) 留学生インターンシップ・就職フェア等の開催  ・インドから留学生等を招聘し、島根大学での受講及び圏域内IT企業等におけるインターンシップ受入(受入人数14人3/1~14)や、現地での就職フェア(12/15~19)を行う。</p> <p>(2) 日本語教育(ケララ州)支援  ・日本人の日本語教師をコチ理工大学に配置し、大学等で日本語教育を行う。  4/1~実施</p> <p>(3) インドIT人材等雇用に関する課題調査  ・インドIT人材等を雇用するに当たっての生活面の配慮、環境整備、研修体制を調査し課題等を明らかにする。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/2 ケララ州へ派遣される日本語教員による会長表敬</li> <li>・8/4,5 ASA ケララ来圏対応(歓迎レセプション、意見交換会)</li> <li>・11/26,27 ケララ州訪問団来圏対応及び首相閣下歓迎昼食会開催</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・留学生インターンシップ</td> <td style="text-align: right;">6,240,000 円</td> </tr> <tr> <td>・日本語教育(ケララ州)支援</td> <td style="text-align: right;">4,460,000 円</td> </tr> <tr> <td>・インドIT人材等雇用に関する課題調査</td> <td style="text-align: right;">1,300,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ケララ州での就職フェア開催</td> <td style="text-align: right;">750,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ASA ケララ来圏対応</td> <td style="text-align: right;">120,534 円※</td> </tr> <tr> <td>・ケララ州首相閣下歓迎昼食会開催</td> <td style="text-align: right;">418,470 円※</td> </tr> <tr> <td>※市長会予算(予備費充用)により対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">13,289,004 円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【財源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金 (国;内閣府 1/2)</li> </ul>					予算額	・留学生インターンシップ	6,240,000 円	・日本語教育(ケララ州)支援	4,460,000 円	・インドIT人材等雇用に関する課題調査	1,300,000 円	・ケララ州での就職フェア開催	750,000 円	・ASA ケララ来圏対応	120,534 円※	・ケララ州首相閣下歓迎昼食会開催	418,470 円※	※市長会予算(予備費充用)により対応		計	13,289,004 円
	予算額																				
・留学生インターンシップ	6,240,000 円																				
・日本語教育(ケララ州)支援	4,460,000 円																				
・インドIT人材等雇用に関する課題調査	1,300,000 円																				
・ケララ州での就職フェア開催	750,000 円																				
・ASA ケララ来圏対応	120,534 円※																				
・ケララ州首相閣下歓迎昼食会開催	418,470 円※																				
※市長会予算(予備費充用)により対応																					
計	13,289,004 円																				

◎本事業における数値目標（KPI）と実績  
 （上段:目標値 下段:実績値）

年度	H30	R1	R2
インド IT 等人材の圏域内企業への就職者数（人）	3	5	15
	<b>5</b>		
日印間業務提携企業数（社）	1	1	2
	<b>1</b>		
インド人留学生インターンシップ受入れ人数（人）	14	14	14
	<b>14</b>		

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業																				
事業名	台湾との経済交流事業																				
事業概要			平成30年度予算額	0 円																	
			令和元年度予算額	1,200,000 円																	
	財源内訳	国・県支出金		円																	
		補助金		円																	
		その他		円																	
		一般財源	1,200,000 円																		
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>市長会と台北市との新たな覚書締結と圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催及び春節前建国花市での圏域PR等。</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費</td> <td style="text-align: right;">300,000 円</td> </tr> <tr> <td>    ・2回開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>        9/11 ジェトロ主催 食品輸出セミナー「中国・香港・台湾の日本食品市場」共催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>        11/25 行政・支援機関向け台湾市場勉強会開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○建国花市での圏域PR</td> <td style="text-align: right;">400,000 円</td> </tr> <tr> <td>    ・@200千円×2名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○台北市長来圏対応（歓迎式典等）</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td>    ・現在台北市側と調整中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					予算額	○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費	300,000 円	・2回開催		9/11 ジェトロ主催 食品輸出セミナー「中国・香港・台湾の日本食品市場」共催		11/25 行政・支援機関向け台湾市場勉強会開催		○建国花市での圏域PR	400,000 円	・@200千円×2名		○台北市長来圏対応（歓迎式典等）	500,000 円	・現在台北市側と調整中	
	予算額																				
○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費	300,000 円																				
・2回開催																					
9/11 ジェトロ主催 食品輸出セミナー「中国・香港・台湾の日本食品市場」共催																					
11/25 行政・支援機関向け台湾市場勉強会開催																					
○建国花市での圏域PR	400,000 円																				
・@200千円×2名																					
○台北市長来圏対応（歓迎式典等）	500,000 円																				
・現在台北市側と調整中																					



事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業概要			平成30年度予算額	10,000,000 円
			令和元年度予算額	7,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。		一般財源		7,500,000 円
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>JR西日本、山陰中央新報社、ジェットロ、ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」と協定を締結し実施。</p> <p>実行委員会会議開催</p> <p>(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3/22 松江市でマルシェ開催予定、翌3/23 県外バイヤーを招き商談会開催予定</li> </ul> <p>(2) 圏域外でのマルシェ開催、協力事業</p> <p>圏域外事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/27, 28 山陰いいものプレミアムマルシェ (JR大阪駅)</li> </ul> <p>協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/9 よなごグランマルシェ (米子市公会堂前庭)</li> <li>・いいもの五つ星パック (お中元、お歳暮シーズンに実施)</li> </ul> <p>その他2次展開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/12 クルーズ船仕入れ担当による視察ツアーを島根県と連携し実施 (成約あり)</li> </ul>				
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>・「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」への負担金</p>				
			予算額	7,500,000 円

## 2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業			
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし			
事業概要		平成30年度予算額	4,000,000 円	
	クルーズ船寄港時、岸壁にて、交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の満足度アップを図る。		令和元年度予算額	5,000,000 円
		財源内訳	国・県支出金	0 円
			補助金	0 円
			その他	0 円
	一般財源	5,000,000 円		
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 5,000,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 35 のとおり</p>				

事業項目	01 外国人誘客対策事業				
事業名	圏域インバウンド対策事業				
事業概要		平成30年度予算額	14,000,000 円		
	圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。		令和元年度予算額	14,240,000 円	
		財源内訳	国・県支出金	推進交付金	4,900,000 円
			補助金		0 円
			その他		0 円
	一般財源	9,340,000 円			
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 14,240,000 円</p> <p>【財源】</p> <p>・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 36. 37 のとおり</p>					

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	国内での観光プロモーション			
事業概要			平成30年度予算額	2,000,000 円
	国内各方面から圏域への観光客誘致のための取組を実施する。		令和元年度予算額	3,700,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	3,700,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 3,700,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 38 のとおり</p>				

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト			
事業概要			平成30年度予算額	14,000,000 円
	人口集中地域である三大都市圏等（首都圏・中京圏・関西圏）において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和元年度予算額	15,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	2,100,000 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	12,900,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 15,000,000 円</p> <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）</li> </ul> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 39 のとおり</p>				

## 02 事業費

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業			
事業名	観光客受け入れ体制の充実			
事業概要			平成30年度予算額	1,500,000 円
			令和元年度予算額	7,410,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	7,410,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 7,410,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 40 のとおり</p>				

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要			平成30年度予算額	3,000,000 円
			令和元年度予算額	4,060,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	4,060,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 4,060,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 41 のとおり</p>				

## 3 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業										
事業名	自然環境学習										
事業概要	平成30年度予算額		800,000 円								
ラムサール条約登録湿地の中海・宍道湖をはじめ圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。	令和元年度予算額		800,000 円								
	財源内訳	国・県支出金	0 円								
		補助金	0 円								
		その他	0 円								
		一般財源	800,000 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめ圏域の豊かな自然環境等の学習や鳥取・島根両県や「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」など関係団体・組織と連携して情報発信を図る。</p> <p>(1) 自然環境学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども探検スクール」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>例年募集人数を超える申し込みがあり、アンケート結果も好評な「中海・宍道湖子ども探検クルーズ」を、日本海、大山も素材として取り入れ再構築した「子ども探検スクール」として実施し、圏域の自然環境をより全体的に学習する機会を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>8/7 宍道湖コース 午前の部</li> <li>8/7 宍道湖コース 午後の部</li> <li>8/8 日本海 加賀の潜戸コース</li> <li>8/20 中海コース</li> <li>8/21 大山 木谷沢溪流散策コース</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・「自然観察会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>※「自然環境の保全・活用にかかる広報啓発事業（中海・宍道湖ぐるっと ウンパくんモバイルスタンプラリー&amp;冬の子ども探検スクール）」として開催</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 鳥取・島根両県や関係団体と連携した活動</p> <p>両県連携事業や各種団体等と連携した事業を実施する。</p> <p>10/12(土) 第5回 中海バイク&amp;ラン共催（台風接近のため中止）</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">経費内訳</th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自然環境学習事業の開催経費</td> <td style="text-align: right;">600,000 円</td> </tr> <tr> <td>・関係団体等と連携したイベント等の共催経費</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				経費内訳	予算額	・自然環境学習事業の開催経費	600,000 円	・関係団体等と連携したイベント等の共催経費	200,000 円	計	800,000 円
経費内訳	予算額										
・自然環境学習事業の開催経費	600,000 円										
・関係団体等と連携したイベント等の共催経費	200,000 円										
計	800,000 円										

## 2 事業費

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業												
事業名	自然環境の保全・活用にかかる広報啓発												
事業概要			平成30年度予算額	1,000,000 円									
			令和元年度予算額	1,000,000 円									
	財源内訳	国・県支出金		0 円									
		補助金		0 円									
		その他		0 円									
		一般財源	1,000,000 円										
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) EVドライブマップの更新等 EVドライブマップに掲載している電気自動車の急速充電器設置箇所を更新したマップのホームページデータ更新等。</p> <p>(2) 自然環境の保全等に係る広報啓発 圏域内に存在する環境資源等の再発掘及び利活用に向け、また、圏域観光資源のひとつとなるよう、広報啓発を行う。中海・宍道湖一斉清掃など、市長会のPRの機会として積極的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/9 中海・宍道湖一斉清掃で市長会ノベルティグッズを配布</li> <li>・子ども探検スクール参加者に市長会ノベルティグッズを配布</li> <li>・9/8 やすぎ環境フェアで市長会ノベルティグッズを配布</li> <li>・水鳥フォトコンテスト作品展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>6/17～6/21 出雲市役所</li> <li>7/1～7/31 安来市役所</li> <li>9/8 やすぎ環境フェア会場（安来市和鋼博物館）</li> <li>9/10～9/30 米子市淀江支所</li> <li>10/12 第5回中海バイク&amp;ラン受付会場（台風接近により中止）</li> <li>10/15～11/14 境港市プラント5入口</li> <li>12/9～12/13 松江市役所</li> </ul> </li> <li>・屋外展示用水鳥フォトコン作品パネル作成</li> <li>・「中海・宍道湖ぐるっと ウンパくんモバイルスタンプラリー&amp;冬の子ども探検スクール」の開催 圏域5市の中で冬の水鳥を見ることができる5カ所をポイントに設定し、12/9～3/8の間でスタンプラリー及び自然観察会（冬の子ども探検スクール）（2/1, 2/8）を開催予定。</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・EVドライブマップ データ更新経費</td> <td style="text-align: right;">60,000 円</td> </tr> <tr> <td>・様々なメディアを活用した広報啓発</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ノベルティグッズ、パンフ等製作経費</td> <td style="text-align: right;">440,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">1,000,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・EVドライブマップ データ更新経費	60,000 円	・様々なメディアを活用した広報啓発	500,000 円	・ノベルティグッズ、パンフ等製作経費	440,000 円	計	1,000,000 円
	予算額												
・EVドライブマップ データ更新経費	60,000 円												
・様々なメディアを活用した広報啓発	500,000 円												
・ノベルティグッズ、パンフ等製作経費	440,000 円												
計	1,000,000 円												

事業項目	02 安心して暮らすことのできる環境づくり事業						
事業名	防災対策の充実						
事業概要			平成30年度予算額	500,000 円			
			令和元年度予算額	200,000 円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円			
		補助金		0 円			
		その他		0 円			
		一般財源	200,000 円				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入 各市防災担当課による連絡協議会を開催（連絡協議会幹事市：安来市） 災害発生時等において、各市間で融通し使用する防災資機材の購入</p> <p>7/24 第1回防災連絡協議会（安来市役所） 12/23 第2回防災連絡協議会（安来市役所） 通信連絡訓練の開催（1/28）</p>							
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 防災資機材の購入経費</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・ 防災資機材の購入経費	200,000 円
	予算額						
・ 防災資機材の購入経費	200,000 円						

## 4 とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	01 圏域情報の共有・発信			
事業名	圏域内外のエリアプロモーション			
事業概要			平成30年度予算額	300,000 円
			令和元年度予算額	300,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。		一般財源	300,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) ホームページ等を活用した、圏域内外への広報周知 ホームページ管理業務委託</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>・ ホームページ運用管理委託料</p> <p style="text-align: right;">予算額 300,000 円</p>				



事業項目	02 圏域内の連携・交流推進											
事業名	圏域内の連携・交流推進											
事業概要			平成30年度予算額	1,100,000 円								
	圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。		令和元年度予算額		3,860,000 円							
			財源内訳	国・県支出金	0 円							
				補助金	0 円							
				その他	0 円							
		一般財源	3,860,000 円									
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間、および各団体との意見交換の場を設けるなど、連携を促進するための仕掛けづくりを行う。</p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進</p> <p>(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動の実施等、圏域一体となって取り組む事業の推進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/22 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議設立総会</li> <li>・ 6/12 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備について、国土交通省に対し要望活動実施</li> <li>・ 7/ 8 境港整備に係る要望活動の実施</li> <li>・ 10/20 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備について、総決起大会を実施</li> <li>・ 11/12 中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会を開催するとともに、国土交通省に対し要望活動実施</li> <li>・ 11/14 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備について、国土交通省に対し要望活動実施</li> <li>・ 11/21 境港整備に係る要望活動の実施</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 意見交換会、合同勉強会の開催経費</td> <td style="text-align: right;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進事業</td> <td style="text-align: right;">2,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ 圏域内のインフラ整備に係る要望活動関係旅費</td> <td style="text-align: right;">1,120,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	・ 意見交換会、合同勉強会の開催経費	240,000 円	・ 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進事業	2,500,000 円	・ 圏域内のインフラ整備に係る要望活動関係旅費	1,120,000 円
	予算額											
・ 意見交換会、合同勉強会の開催経費	240,000 円											
・ 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進事業	2,500,000 円											
・ 圏域内のインフラ整備に係る要望活動関係旅費	1,120,000 円											

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	人材育成の共同化			
事業概要			平成30年度予算額	1,200,000 円
			令和元年度予算額	1,200,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	1,200,000 円	
<p>圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。</p>				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域の将来を担い、地方創生を進める人材を共同で育成するとともに、人的な交流を通じて業種や地域の垣根を越えた人的ネットワークの構築を推進する。</p> <p>(1) 官民が連携した人材育成研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山陰まんなか未来創造塾等の開催</li> </ul>				
	開催 予定日	演題等		
第1回	2/5	セブン銀行の挑戦 講師：(株)セブン銀行 専務執行役員 松橋正明氏		
第2回	3/9	宗次流 独断と偏見の経営哲学 講師：カレーハウス CoCo 壺番屋 創業者 宗次徳二氏		
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>・山陰まんなか未来創造塾等の開催経費</p>				
			<b>予算額</b>	
			1,200,000 円	

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	2020 東京オリ・パラプロジェクト事業			
事業概要			平成30年度予算額	－ 円
			令和元年度予算額	－ 円
	財源内訳	国・県支出金		－ 円
		補助金		－ 円
		その他		－ 円
		一般財源	－ 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>東京オリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、圏域の情報をPRする取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流、おもてなし、多様性への配慮</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>－</p> <p>《参考》 各市の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 レーザー級世界選手権大会（境港市）</li> <li>・クロアチア拠点セーリングチーム合宿（境港市）</li> <li>・ソフトボール女子TOP日本代表チーム強化合宿（出雲市）</li> </ul>				

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要			平成30年度予算額	3,000,000 円
			令和元年度予算額	3,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	3,500,000 円	

### 1. 事業内容

#### (1) 圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施、支援等の実施

- ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

～トップアスリートとあそぼう～第2回キッズふれあいスポーツフェスティバルの開催  
小学生を対象に、学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進を目的とした、圏域のプロスポーツチーム等とのイベントを開催。

1/18 松江市総合体育館にて開催

- ・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援

文化・スポーツ交流促進事業補助金

実施期間 5/1～3/31

募集期間 5/1～2/28

対象者 次の要件をすべて満たす団体

- ①圏域内に事務所を有し、継続的に活動が実施できる民間の団体であること。
- ②法人（特定非営利活動促進法に規定する特定非営利活動法人を除く）ではないこと。
- ③規約、会則等の取決めがあり、実施事業の適切な会計処理をすることができること。

補助金額 補助対象経費の1/2（補助上限額：新規事業20万円、継続事業10万円）

※ 補助金交付決定額 200千円（1団体 1月末現在）

- ・各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業の実施

開催市	イベント名	実施日	招致団体等
米子市	米子城フェスタ 2019	10/5	出雲尼子を興す会（安来市）
境港市	第74回みなと祭	7/21	安来節保存会（安来市）、関乃五本松節保存会（松江市）及び奥日野源流太鼓（日南町）
松江市	松江水燈路	10/6	永春神楽団（出雲市）
出雲市	第14回出雲神話まつり	8/10	米子がいな太鼓保存会（米子市）
安来市	やすぎ月の輪まつり 2019	-	（8/14 台風によりステージイベント中止。）

2. 経費内訳	予算額
・ スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 スポーツ交流事業企画運営業務委託料	500,000 円
・ 文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援	1,500,000 円
文化・スポーツ交流促進事業補助金	1,500,000 円
新規事業 @200 千円×3 団体 =	600,000 円
継続事業 @100 千円×9 団体 =	900,000 円
・ イベント交流事業の開催	1,500,000 円
イベント交流事業委託料 @300 千円×5 市	
計	3,500,000 円

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域情報活用推進事業			
事業概要			平成30年度予算額	1,000,000 円
			令和元年度予算額	— 円
	財源内訳	国・県支出金		— 円
		補助金		— 円
		その他		— 円
圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、圏域の連携事業に活用する。		一般財源	— 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) オープンデータの利活用に向けた調査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータの利活用及び必要とされるデータの公開に向けた調査・検討の実施。</li> </ul> <p>(2) ビッグデータ等の分析・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国経済連合会による「中海・宍道湖・大山圏域経済の「見える化」分析」の結果を活用した取組の検討。</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>—</p>				

事業項目	02 圏域内の連携と協働						
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業						
事業概要			平成30年度予算額	0 円			
			令和元年度予算額	200,000 円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円			
		補助金		0 円			
		その他		0 円			
一般財源			200,000 円				
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。							
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/ 8 中海・宍道湖レガッタ</li> </ul>							
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金	200,000 円
	予算額						
・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金	200,000 円						

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	移住・定住等促進事業 【新規】			
事業概要			平成30年度予算額	0 円
	圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。		令和元年度予算額	2,036,000 円
	財源内訳	国・県支出金	県補助金	400,000 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
	一般財源		1,636,000 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組 ※  圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手の出会う機会を創出する。未婚化、晩婚化の改善をはかり、圏域における移住・定住の促進につなげる。  ・9/29 島根会場（松江テルサ）、10/6 鳥取会場（米子ビッグシップ）</p> <p>(2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業  首都圏大学に通う学生との関わりを持つことで関係人口の創出を図る。また圏域を研究フィールドとして提供し、首都圏大学と圏域住民及び地元大学との交流を図る。  令和元年度は東京大学地域未来社会連携研究機構と包括協定を締結し交流を図る。</p> <p>(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト  島根大学の学生に、圏域の特色・戦略・課題を学ぶ機会を創出し、将来的に圏域で活躍する人材の育成と、若者の地域への定着促進を図る。  COC人材育成コースの授業科目「イノベーション創成基礎セミナーⅠ」において実施する。授業では、学生を圏域5市のいずれかの担当として班分けし、実際の地域を訪れ、得た情報を分析し、成果発表を行う。(受講人数：50名)  ・4/19、4/26 各市の職員による総合戦略やまちづくりについての講義  ・6/1 フィールドワーク（学生が、担当する市を象徴する場所に訪れ、写真撮影や、先進的な取組をする人・組織・場所についてインタビュー等を行う。）  ・7/19 成果発表</p>				
<b>2. 経費内訳</b>		<b>予算額</b>		
・婚活（UN-PAKU meeting）に係る経費		1,400,000 円		
・首都圏大学との圏域キャンパス事業に係る経費		0 円		
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費		636,000 円		
計		2,036,000 円		
<b>【財源】</b>	・結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金（県；鳥取県 1/2）※			



事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	交通ICカード導入調査事業 【新規】			
事業概要			平成30年度予算額	0 円
			令和元年度予算額	6,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	6,500,000 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域内公共二次交通の利便性向上及び利用促進を図るため、圏域の路線バスへの交通ICカードの導入に関し、調査・設計等を行う。</p> <p>(1) 路線バスへの交通ICカード導入に係る調査・設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出と整理</li> <li>・仕様の検討と基本設計</li> <li>・システム構成の検討</li> <li>・その他</li> </ul> <p>4/ 1 交通系ICカードシステムの導入検討に伴うコンサルティング業務委託の実施について、委託契約を締結</p> <p>(2) 先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ICカードシステムを導入している先進地の視察を行い、地域の観光・経済の活性化・バス交通の利便性の確保等に対する具体的な状況・施策等を把握する。</li> </ul> <p>12/12～13 視察実施（各市交通政策担当等 13名参加）</p> <p>視察先</p> <p>① 株式会社 JR 西日本テクシア（兵庫県尼崎市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードシステムについて</li> </ul> <p>② 西日本ジェイアールバス株式会社（大阪府大阪市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速路線バスへのQRコード決済導入の経過と他路線への展開の可能性について</li> <li>・乗務員の確保について（乗務員不足の状況や確保に向けての取り組みなど）</li> </ul> <p>③ 姫路市役所（兵庫県姫路市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路駅前整備について（トランジットモール整備の背景や効果について）</li> <li>・姫路市のバスを中心とする公共交通の状況と利用促進等の取り組みについて</li> </ul>				
<b>2. 経費内訳</b>			<b>予算額</b>	
・路線バスへの交通ICカード導入に向けた調査委託費			6,000,000 円	
・先進地視察に係る経費			500,000 円	
計			6,500,000 円	

# 1 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金				
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金				
事業概要			平成30年度予算額	15,600,000 円	
	北東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		令和元年度予算額		15,600,000 円
			財源内訳	国・県支出金	0 円
				補助金	0 円
				その他	0 円
		一般財源	15,600,000 円		
<b>1. 事業内容</b>					
(1) 定期貨客船航路就航支援補助金					
<p>圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円）  <math>\text{@}1,000 \text{ 千円} \times 52 \text{ 航次} \times 3/10 = 15,600 \text{ 千円}</math></li> <li>・ 負担割合：鳥取県 7/10、市長会 3/10</li> </ul>					
<b>2. 経費内訳</b>					
				<b>予算額</b>	
環日本海貨客船航路就航支援補助金				15,600,000 円	
<b>【財源】</b>					
《参考》					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成市の負担額  出雲市・松江市・米子市各 2,000 千円    安来市 1,000 千円    境港市 8,600 千円</li> <li>・ 欠航により減額予定</li> </ul>					

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業			
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし			
事業概要 クルーズ船寄港時、岸壁にて、交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の満足度アップを図る。	平成 30 年 度		4,000 千 円	
	令 和 元 年 度		5,000 千 円	
	財源 内訳	国・県支出金		0 千 円
		補 助 金		0 千 円
		そ の 他		0 千 円
一 般 財 源			5,000 千 円	

1. 事業実施内容

令和2年春に完成予定の竹内南地区貨客船ターミナルを契機として、クルーズ客船寄港地の魅力向上、外国人観光客の圏域周遊促進及びより一層の消費の拡大を図る。

(1) 岸壁における観光案内業務・交流イベントの実施

クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験等）や観光案内を行う。

- ・観光案内業務の実施 26回（大型～中型船で実施）
- ・交流イベントの実施 52回（原則、全船で実施）
- [2019年クルーズ客船寄港 53回] \*2020年1月～3月はなし

(2) 外国人観光客の圏域周遊促進及び消費拡大の取組

- ・鳥取県と連携して期間限定で実証実験（レンタサイクル）を実施
- 実施期間：5/22～11/30

(3) 観光案内ボランティアの募集登録及び当日管理業務

外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。

- ・中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他

(4) 境港のクルーズ客船の乗下船港に向けた取組

大型貨客船ターミナルオープンを契機として、寄港する各クルーズ客船の乗下船港になることを目標とした取組の検討を行うとともに、寄港増やオプションツアーへのアプローチ等の要望を行う。

- ・松江商工会議所と連携しFIT客向けにモニターツアーを開催。

2. 経費内訳

- ・観光案内業務、交流イベント等の実施に係る経費 4,000,000円
- ・観光案内ボランティアに係る経費 1,000,000円

計 5,000,000円

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	圏域インバウンド対策事業		
事業概要		平成30年度	22,700千円
圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。		令和元年度	21,790千円
	財源内訳	国・県支出金 推進交付金	4,900千円
		補助金	0千円
		その他	6,850千円
一般財源		10,040千円	

### 1. 事業実施内容

#### (1) 圏域に来訪する外国人観光客受入環境整備の実施

外国人観光客受入環境整備を推進して、来訪者の満足度を高め、圏域へのリピーター増加につなげる。

- ・表示物等整備（事業所等の説明文・メニュー等の多言語化支援（翻訳サービス）等）  
翻訳サービス：
- ・観光案内所ネットワーク化の推進（観光案内所連絡会にて研修等の実施）  
案内所職員研修の実施9/26（安来市）、10/2（大山圏域）、10/17（境港市）
- ・圏域におけるキャッシュレス決済システム導入、免税店登録、冬季（閑散期）対策、二次交通の充実など業種別連絡会（飲食・物販・宿泊・交通）を通じて取組む。  
圏域キャッシュレス化推進検討委員会を開催（4/4、11/28）  
免税店登録の拡大も含めて進める方針を確認した。  
伝統工芸品英文パンフレット発行、説明会開催（4/16）  
山陰地域観光MaaS協議会に参画

#### (2) 海外への観光プロモーションの実施

ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、重要ターゲット国・地域\*に対し観光プロモーションを行うことにより、圏域の魅力・観光資源の情報発信及び誘客促進を図る。

**\*重要ターゲット国・地域；山陽方面に訪日している欧米豪及び近隣の空港に国際航空路線が就航する東アジア（台湾、香港）や東南アジア（シンガポール）の国・地域**

- ・JNTO（日本政府観光局）賛助会員への加入
- ・プロモーション
  - 欧米豪向けWEBプロモーション※  
6月ジャパンタイムズG20大阪特集号でのパブリシティ広告記事掲載  
JNTO情報コンサルティング事業  
JNTOマンスリーWEBマガジン事業  
フランス人ユーチューバーによる圏域観光動画の作成と情報発信（3月予定）
  - 台湾向け現地プロモーション（トップセールス、見本市出展、現地メディア等）※  
現地観光情報説明会、商談会開催（10/3～6 リージェント台北）  
参加者：日本側29社 51名 台湾側78社 105名  
現地メディア（訪日旅行サイト）での情報発信  
建国花市圏域観光ブース出展（1/17～19）
  - 上海向け現地プロモーション  
1月の米子-上海便就航に合わせ、現地商談会参加（11/26～28）
  - ツーリズムEXPOジャパン2019と同時開催の「VISIT JAPANトラベル&MICEマート（VJTM）国内セラー」においてインバウンド商談会に参加

- ・英語版ホームページの充実（コンテンツ追加、SEO対策、災害時緊急対応等の機能改修）。SNS（Facebook, Instagram等）による情報発信。※  
改修、訪日旅行サイトへの広告配信及び新たなエピソードを追加（2月予定）、フェイスブックページ開設、更新（12月～）
- ・テーマ別コンテンツの発掘、磨き上げ、組合せ、情報発信  
圏域らしい観光コンテンツの発掘等を行い、各種プロモーション等に活用する。

## 2. 経費内訳

- ・外国人観光客受入環境整備に係る経費 7,120,000円
- ・海外への観光プロモーションに係る経費 14,670,000円（一部推進交付金対象事業）

計 21,790,000円

## 【財 源】

- ・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	国内での観光プロモーション			
事業概要			平成30年度	2,000千円
			令和元年度	3,700千円
	財源内訳	国・県支出金		0千円
		補助金		0千円
		その他		0千円
一般財源			3,700千円	

### 1. 事業実施内容

国内各方面からの観光誘客促進、維持・増加のために、県、JR等の関係機関との連携による取り組みを実施する。

#### (1) JR等と連携した観光プロモーションの実施

- ・JR京阪神地区主要駅（8駅）におけるPRキャラバンの実施  
JR主催事業；年4回（6、9、12、3月）実施  
実施済：6/12～13、9/11～12、12/11～12、2月予定  
山陽方面におけるPRキャラバンの検討・実施
- ・航空自衛隊美保基地「航空祭」での観光プロモーション  
6/2出展 観光協会会議、大根島産直市、せとうちSEA PLANESと連携

#### (2) 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進

- ・「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する各空港の冬季利用促進事業の実施に係る経費の一部（上限各750,000円）を負担する。

#### (3) ツーリズムEXPOジャパン2019への出展

- ・国内観光需要の取り込み、海外からの訪圏旅行の誘致に向け、展示会や商談会、消費者向けのプロモーションを実施する。  
10/24～27 島根県と連携し圏域ブース出展。

#### (4) メディア・旅行会社への情報提供

- ・旬の観光情報や、圏域の魅力を定期的にパブリシティとして情報提供する。

### 2. 経費内訳

- ・JR等と連携した観光プロモーションに係る経費 500,000円  
（参加者旅費及び配布物封入作業委託等）
  - ・出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 1,500,000円  
（750,000円×2空港）
  - ・ツーリズムEXPOジャパン2019出展料、旅費等に係る経費 1,700,000円
- 計 3,700,000円

事業項目	02 国内誘客対策事業		
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト		
事業概要		平成30年度	14,000千円
人口集中地域である三大都市圏（首都圏・中京圏・関西圏）等において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和元年度	15,000千円
	財源内訳	国・県支出金 推進交付金	2,100千円
		補助金	0千円
		その他	0千円
	一般財源	12,900千円	

### 1. 事業実施内容

圏域内における大きな関連イベント（ホーランエンヤ、島根半島・宍道湖中海ジオパーク、大山隠岐国立公園満喫プロジェクト、日本遺産関連事業、国際定期航空便利用促進、FDA静岡及び仙台便利用促進、水陸両用機運航等）と連携強化しながら、人口集中地域である三大都市圏（首都圏、中京圏、関西圏）等をターゲットに、圏域の魅力・観光資源を発信することにより、圏域の認知度向上に努め、三大都市圏等から圏域への観光誘客を図る。

#### (1) 三大都市圏への観光プロモーション

- ・メディア（雑誌）を活用した通年プロモーション※  
（7月公募型プロポーザル審査により事業実施）  
複数の雑誌を順次発刊する計画で、第1弾は10月～  
掲載媒体：OZマガジンTRIP等
- ・三城（国宝松江城、月山富田城、米子城）連携によるプロモーション  
9/25～2/29 うんばく三城御城印めぐりキャンペーン開催  
三城の御城印帳を作成し、限定配布  
12/21～22お城EXPO出展
- ・まっふる山陰'20に記事広告掲載（6月発行）

#### (2) 三大都市圏以外への観光プロモーション

- ・南北軸を結ぶ山陽方面からの誘客プロジェクト  
4/13-14 岡山「アクティブシニアフェア2019」に出展 3城連携による観光PR
- ・東北・静岡方面からの誘客プロジェクト  
8/6-8 「仙台七夕まつり」への出展  
縁結び観光協会・出雲空港利用促進協議会との連携事業として実施  
10/18-19 仙台市サンモール一番町商店街でのイベントプロモーション  
昨年度実施のJR仙台駅構内でのイベントに続くプロモーション第2弾  
圏域の物産販売などを絡めた圏域観光PR事業として実施

#### (3) WEBによるプロモーション

- ・日本語ホームページの新規開設・活用。SNSによる情報発信。  
（12月公募型プロポーザル審査により事業実施）

### 2. 経費内訳

- ・三大都市圏への観光プロモーションに係る経費 6,000,000円（推進交付金事業）
- ・三大都市圏以外への観光プロモーションに係る経費 6,000,000円
- ・WEBによるプロモーションに係る経費 3,000,000円

計 15,000,000円

### 【財 源】

- ・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業								
事業名	観光客受け入れ体制の充実								
事業概要	平成30年度	1,500千円							
国内外から圏域へ来訪する観光客の受入の充実や周遊性の向上を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	令和元年度	7,881千円							
	財源内訳	国・県支出金	0千円						
		補助金	0千円						
		その他	0千円						
	一般財源	7,881千円							
<p><b>1. 事業実施内容</b></p> <p>圏域内で取り組みが進む各種事業との連携を密にし、圏域の魅力アップにつながる事業への参加・協力・支援等の取組を行う。</p> <p>また、国内、海外から圏域へ来訪する観光客の受け入れ体制の充実や圏域観光に係る人材のスキルアップを図り、圏域をあげたリピーターの確保につながる取組を実施する。</p> <p>(1) 各種事業との連携、参加・協力・支援及び圏域来訪客配布用ノベルティ・パンフレット作成等  ・5/18、26松江市ホーランエンヤ会場臨時観光案内所設置</p> <p>(2) 縁むすびスマートナビの運用  「AR観光アプリ縁むすびスマートサービス維持・管理及び運用業務」について、観光局が一括して契約主体となる。</p> <p>(3) 翻訳業務の実施  島根県環境生活部自然環境課「しまねの自然公園満喫MAP」4ヶ国語翻訳を受託</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table> <tr> <td>・各種事業との連携、協力・支援及びノベルティ、パンフレット作成等経費</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>・縁むすびスマートナビ運用業務委託経費</td> <td>6,410,000円</td> </tr> <tr> <td>・翻訳料</td> <td>471,000円</td> </tr> </table>				・各種事業との連携、協力・支援及びノベルティ、パンフレット作成等経費	1,000,000円	・縁むすびスマートナビ運用業務委託経費	6,410,000円	・翻訳料	471,000円
・各種事業との連携、協力・支援及びノベルティ、パンフレット作成等経費	1,000,000円								
・縁むすびスマートナビ運用業務委託経費	6,410,000円								
・翻訳料	471,000円								



事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費		
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局の運営		
事業概要	平成30年度	3,000千円	
市長会とブロック経済協議会並びに観光協会 会議が連携し、本圏域のDMO組織を設立、 圏域の観光振興事業を実施する。	令和元年度	8,015千円	
	財源 内訳	国・県支出金	0千円
		補助金	0千円
		その他	3,955千円
	一般財源	4,060千円	

### 1. 事業実施内容

圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、本圏域のDMO組織を設立（法人化への移行及び観光庁日本版DMOの正式登録）・運営をすることで、さらなる圏域経済の振興及び地域活性化を図る。自立・自走ができる組織運営の検証と更なる展開を目指す。

また、山陰インバウンド機構、県等と連携しマーケティングを図る。

(1) 圏域観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用  
次長職にあたる嘱託職員を雇用

(2) 自立・自走に向けた試行の検証と更なる展開及びDMO組織の設立・運営  
4/1一般社団法人登記  
6月登録申請し、8/7付で日本版DMOとして正式登録

### 2. 経費内訳

・専従職員「プランナー（嘱託職員）」設置経費	2,193,000円
・専従職員「事務局次長（嘱託職員）」設置経費	3,955,000円
・法人化移行に伴う経費	867,000円
・事務局運営費	1,000,000円

計 8,015,000円